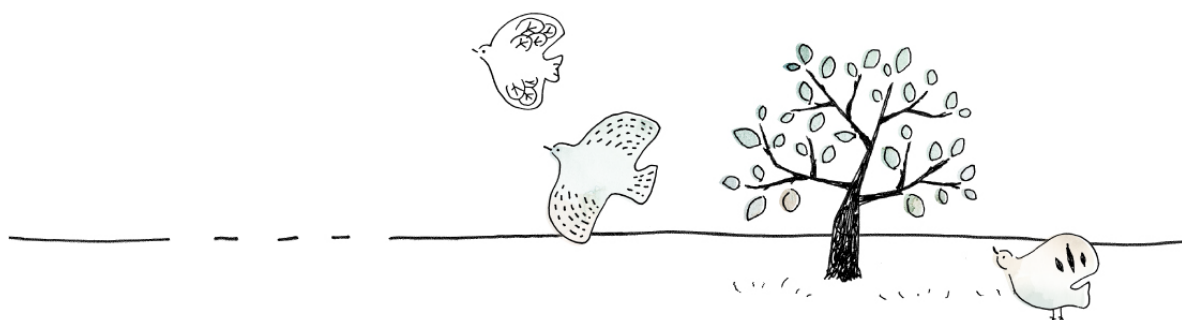




第6期(2024年) 事業報告書

2025年3月26日

一般社団法人ピーパック





1. 法人概要

【活動方針】

「病気をもつ人・患者会」と「社会」「ライフサイエンス企業・医療機関・教育研究機関」をつなぐ【ハブ】として、あらゆるステークホルダーとの対話・交流と協働を推進し、年間を通して当事者主体での情報発信・活動内容の企画を行い、下記3点のビジョンの達成を目指し活動した

- ① 病気をもつ人が望む生活に近づくための支援体制をつくる
- ② 患者会が充実した活動をするための支援体制をつくる
- ③ 病気があっても大丈夫と言える社会をつくる

【事業内容】

非営利徹底型一般社団法人として、後述する「2.事業報告」の通り公益事業ならびに収益事業を行った

【獲得助成金・受賞等】

- ❖ 2月28日「第12期 田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム」採択
事業名:難病をもつ人たちの就労に関する課題解決事業 助成金額:96万円
- ❖ 9月18日「EFPIA Japan 患者団体支援プログラム 第7回 PASE AWARD」受賞
10月9日「第7回 PASE 大賞・助成金授与式」出席
事業名:患者の食事に関する困りごとを可視化し啓発に繋げる「一緒にいただきますプロジェクト」のキャンペーン展開 助成金額:50万円
プレスリリース→<https://x.gd/903V5>
活動報告→<https://ppecc.jp/activity/post/000544/>
- ❖ 12月3日「公益財団法人テルモ生命科学振興財団 2024年度医療貢献活動助成」採択
事業名:軽度腎機能低下の人へ、自己管理を促すCKDシートの普及啓発 助成金額:100万円

【全社的活動、内部統制、ガバナンス等】

- ❖ 1月4日 全体朝礼実施
- ❖ 3月29日 2024年度第1回理事会・定時社員総会開催
- ❖ 4月15日 ウェブサイトに2023年度事業報告・決算報告公開
- ❖ 6月21日 2024年度第2回理事会開催
- ❖ 8月19日 新規採用1名(事業拡大、産休・育休による欠員補充のため)
- ❖ 9月19日より全体ミーティング「どうしようもある会議」を毎月第3木曜日に定例で行うこととした
- ❖ 9月23日にメンバー合宿を実施し、役員から創業時の思いを共有後、メンバーがグループワークで「これからのピーペックで目指すこと」について話し合い、相互の信頼感を高めつつ意思統一を行った
- ❖ 9月29日 2024年度第3回理事会開催
- ❖ 12月22日 2024年度第4回理事会開催
- ❖ 12月25日 全体ミーティング実施
- ❖ 2024年12月末時点の社員数・会員数は下記の通り
 - ・ 社員数(議決権あり):5名
 - ・ 会員数(議決権なし):736名(前年同日比 +88)
 ※ここでの「会員数」は、ピーペックのコミュニティ(PPeCC サロン)の「会員数」を指す



2. 事業報告

I. 公益事業

i. 情報提供事業(メディア運営事業)

(ア) PPeCC サロン

病気をもって生活する上で生じるあらゆることを、なんでも気軽に書き込める掲示板機能と、会員限定コンテンツ閲覧機能を備えた会員同士のオンライン交流プラットフォームを運営した。

新規トピック数:0 件

(イ) じんラボ

2013年4月より続く、透析歴37年の代表宿野部を中心に、腎臓病をもつ方、透析を受けている方の「自覚」と「自立」を応援し、知識と情報、つながりの場を提供するウェブサイト運営した。

また、毎週金曜日(週1回)にメールマガジン「Jinlab 所長通信」を発行した。

運営状況(2024年12月末現在)

登録者	4,571名										
ページビュー	127,265/月										
ユーザー数	36,971 /月										
メールマガジン発行数	累計467回										
メールマガジン配信数	3,349/回										
メールマガジン開封率	23%/年間平均										
新規記事公開数	<table border="0"> <tbody> <tr> <td>研究員のはなし(体験談)</td> <td>18本</td> </tr> <tr> <td>生き活きナビ(生活情報)</td> <td>2本</td> </tr> <tr> <td>基礎知識</td> <td>1本</td> </tr> <tr> <td>with Kidney 関連記事</td> <td>12本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計:33本</td> </tr> </tbody> </table>	研究員のはなし(体験談)	18本	生き活きナビ(生活情報)	2本	基礎知識	1本	with Kidney 関連記事	12本		合計:33本
研究員のはなし(体験談)	18本										
生き活きナビ(生活情報)	2本										
基礎知識	1本										
with Kidney 関連記事	12本										
	合計:33本										

(ウ) ウェブサイトでの情報発信

- ・ イベント開催情報、メディア掲載情報、活動報告、お知らせなどの発信
- ・ コラム「わたしたちのこえ」を定期発信 累計本数:34本(2024年12月末現在)

(エ) SNS での情報発信

フォロワー数(2024年12月31日現在、カッコ内は前年同日比)

Facebook 442(+24)

X(PPeCC+わたしたちのこえ) 707(+134)

(オ) 会員向けメールマガジン配信

毎月1回および臨時メールマガジンを配信(計22本)

ii. イベント事業(イベント企画運営事業)

(ア) ピーパックカフェ

- ・ 疾患を問わず気軽に集まれる場として、テーマを設けず、交流したい人もそうでない人も、病気をもつ人ももたない人も、気軽に会話する場(Zoom ミーティング)を定員15名で開催した。計3回開催、延べ参加者数は35名だった。
- ・ サポートメンバーとのミーティングも2回開催した。

- 開催報告→<https://ppecc.jp/activity/project/detail/ppecc-cafe/>

開催概要

	開催日	開催時間	参加人数
第 28 回	2 月 21 日(金)	19 時 30 分～ 20 時 30 分	9 名
第 29 回	4 月 24 日(水)		16 名
第 30 回	8 月 28 日(水)		10 名

(イ) じんサポ(じんラボのこころのサポート)

2014 年よりじんラボにて行うピアサポート活動。腎臓病をもつ方、透析を受けている仲間同士がリラックスした雰囲気の中で、不安や悩みをざっくばらんに話せるよう、こころのサポーター(ピアサポーター)が気持ちに寄り添う。2024 年は 3・6・9・12 月の第 2 日曜日にじんサポおよびサポーターとの MTG を開催した。

開催概要

開催日	開催時間	参加人数
3 月 10 日(日)	14 時～16 時	参加者:0 名/サポーター:2 名
6 月 9 日(日)	16 時～18 時	参加者:1 名/サポーター:3 名
9 月 8 日(日)	14 時～16 時	参加者:1 名/サポーター:3 名
12 月 8 日(日)	14 時～16 時	参加者:1 名/サポーター:7 名

iii. 調査研究事業(調査研究/政策提言事業)

(ア) みんなでつくろう、これからの医療(PPH)プロジェクト

「病気があっても大丈夫と言える社会」の実現に向け、あらゆる人が立場を超えてこれからの医療と一緒に考え、創っていくためのプロジェクト。病気をもつ人視点の治療・薬・サービスを「あたりまえ」にするため、「病気をもつ人・患者会」と「ライフサイエンス企業」をつなぐ【ハブ/架け橋】としての役割を果たし、両者の交流と協働を推進する。

• みんつくゼミナール

7 月より「みんつくゼミナール 2024」全 4 回の協賛募集開始、14 社、計 265 万円の協賛を得て実施した

「みんつくゼミナール 2023」開催概要

イベント名	第 3 回 「人とテクノロジーの共生で拓く これからの医療」 共催:アステラス製薬株式会社
開催日時	2 月 4 日(日) 12:00～14:00
プログラム	講演:伊藤 亮氏(一般社団法人先天性ミオパチーの会 代表理事) 上原 皓氏(筑波大学 システム情報系 助教) ディスカッション:「病気をもつ当事者と研究者の協働」について 開催報告→ https://ppecc.jp/activity/post/000421/
参加者数	71 名

イベント名	第4回「患者の”こえ”を未来につなぐ ～みんなで話そうこれからの医療～」
開催日時	3月31日(日) 12:00～14:00
プログラム	<p>みんつくゼミナール 2023 の振り返りとディスカッション「私にできる・やってみたい PPI(患者市民参画)とは？」</p> <p>モデレーター:大武 陽一氏(たけお内科クリニック からだと心の診療所 院長)</p> <p>交流会「私にできる・やってみたい PPI(患者市民参画)とは？」</p> <p>開催報告→https://ppecc.jp/activity/post/000437/</p>
参加者数	38名(第2部交流会 31名)

「みんつくゼミナール 2024」開催概要

イベント名	第1回「医薬品を公平に手にするために、私たちができること ～くすりの未来、みんなで考えよう！～」
開催日時	10月27日(日) 13:00～15:30
プログラム	<p>講演:小林 信教氏(日本製薬工業協会 産業政策委員会 ドラッグラグ・ロスタスクフォース サブリーダー)</p> <p>ワークショップ:「医薬品を公平に手にするために、私たちができること～くすりの未来、みんなで考えよう！～」</p> <p>開催報告→https://ppecc.jp/activity/post/000510/</p>
参加者数	43名(ワークショップ 18名)
イベント名	第2回「病気をもつ人の”こえ”が届く社会へ ～医療政策と私たちの役割～」
開催日時	11月24日(日) 13:00～15:30
プログラム	<p>講演:千正 康裕氏(株式会社千正組 代表取締役社長)</p> <p>ワークショップ:「病気をもつ人の”こえ”が届く社会へ～医療政策と私たちの役割～」</p> <p>開催報告→https://ppecc.jp/activity/post/000522/</p>
参加者数	36名(ワークショップ 18名)
イベント名	第3回「研究者と病気をもつ人の対話コトハジメ ～患者市民参画が当たり前になる社会を目指して～」
開催日時	12月15日(日) 13:00～15:30
プログラム	<p>講演:武藤 香織氏(東京大学医科学研究所 公共政策研究分野 教授)</p> <p>ワークショップ:「みんなにとってより良い研究(アンケート調査)ってなんだろう？」～患者会・研究者それぞれの立場で必要だったと思うことはなんですか？～</p> <p>開催報告→https://ppecc.jp/activity/post/000528/</p>
参加者数	43名(ワークショップ 16名)

※第4回:2025年2月9日開催

- みんつくホンネぼすと
- 寄せられた投稿を元に新たに「一緒にいただきますプロジェクト」をスタート

詳細→<https://pphpj.ppecc.net/form/>

- ・ 2024年4月11日よりInstagram(@honnepost_itadakimasu)を開設
- ・ 「第7回 PASE AWARD」の受賞を受け、以下の活動を行った
 - ✓ 11月11日の「いただきますの日」に合わせてSNSで投稿を募集するキャンペーン
 - ✓ プロジェクトメンバーによる動画配信
 - ✓ 11月11日～12月31日に「外食に関するアンケート」を実施し、250名の回答を得た
 - ✓ 詳細→<https://ppecc.jp/news/post/000508/>

- ・ みんつくガイドブック

- ・ 9月1日にみんつく協働ガイドブック「理解篇」を公開した
- ・ 詳細→<https://pphpj.ppecc.net/guidebook2/>

(イ) with Heart プロジェクト

心臓病をもつ人、患者会(支援者)、医療者、企業など、あらゆる人が集まり、共に学び・話し合いながら「心臓病があっても大丈夫」と言える社会に向けた、プランを描くプロジェクト。2024年は2023年に引き続き「こえを集めて、届ける基盤をつくる」をテーマに活動した。

活動報告→<https://ppecc.net/projectreport/>

(ウ) with Kidney プロジェクト

じんラボ10周年企画として、腎臓病を進行させない・透析にならないため、QOL(生活の質)の維持向上のための、みんなでつくるCKDとの上手な付き合い方のしくみ「患者と医療者がつくった腎臓病とのつきあい方ガイド」づくりを当事者、ライフサイエンス企業、医療者など、立場の異なる人たちと共に考え、2023-26の3年間のプロジェクトとして行う。3か年計画の2年目の活動として、32シートの制作・公開と8回のアンケート、2回の定例ミーティングを行った。

活動詳細→<https://www.jinlab.jp/withkidney/>

(エ) 病気をもつ人のアドボカシープロジェクト

- ・ 2月14日、アドバイザリーボードメンバーとして参加した、NPO法人日本医療政策機構腎疾患対策推進プロジェクト 2023「患者・市民・地域が参画し、協働する腎疾患対策に向けて」政策提言・地方自治体における慢性腎臓病(CKD)対策好事例集(特定非営利活動法人日本医療政策機構)が公表された

詳細→<https://hgpi.org/research/ncd-ckd-20240214.html>

- ・ 2月15日、内閣府内閣府規制改革推進室 意見交換会出席
- ・ アドバイザリーボードメンバーとして参加した、NPO法人日本医療政策機構患者当事者支援プロジェクト～政策形成の場における患者・市民参画の推進に向けて～において以下の活動をおこなった
 - ・ 2月29日にコメントの執筆
 - ・ 3月31日、「医療政策の形成過程における患者・市民参画(PPI: Patient and Public Involvement)の手引き—患者・市民と行政それぞれに求められる取り組みとその好事例」が公表された

詳細→<https://hgpi.org/research/ncd-ppi-20240331.html>

- ・ 5月14日、政策提言「政策形成過程への患者・市民参画の推進に向けて」が公表された
 詳細→<https://hgpi.org/research/ncd-ppi-20240514.html>
- ・ 5月29日にヒアリングに協力
- ・ 7月26日・9月11日、アドバイザーボード会合に出席

(オ) 調査研究プロジェクト

国立研究開発法人 科学技術振興機構 SDGs の達成に向けた共創的研究開発プログラム(シナリオ創出フェーズ)に採択された「ピアサポートのDX化による、新しい当事者参画医療社会モデルの構築に向けたシナリオの創出」に続き、ソリューション創出フェーズ「ピアサポートの価値創造と普及による新しい医療社会モデル構築にむけた展開」に採択され、協働実施者として代表宿野部が参画した(2021年より継続)。

詳細→https://www.jst.go.jp/ristex/solve/project/solution/solution24_kitaharapj.html

iv. その他事業

(ア) 海外との連携

- ・ 2023年に参画したバーリンガーインゲルハイム主催 Global Patient Partnership Summit 2023 から継続して行なわれている Global Patient Partnership Summit GPPS Theme-Based Call に 3月18日、5月13日、9月30日の計3回出席した
- ・ Global Patient Alliance for Kidney Health に参画し、GloPAKH Membership Meeting に 3月7日、4月17日、7月31日、10月16日の計4回出席した
 GloPAKH 詳細→<https://globalkidneyalliance.org/>

(イ) ピアサポート

公益財団法人東京都福祉保健財団 東京都障害者ピアサポート研修にファシリテーターとして 3月6日、8月6日、9月5日、11月19日の計4回参画した。

II. 収益事業

i. 団体運営支援事業

(ア) 事務局運営支援

一般社団法人心臓弁膜症ネットワークの事務局運営支援として、バックオフィス全般、イベント開催支援、広報、グローバル活動支援など、幅広く対応した。

主な実施業務

- | | |
|--------------|--|
| ① 管理業務 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 経理業務、電話・メールの問い合わせおよび相談対応やファイル管理、会議・理事会・総会開催などの管理業務全般を行った ・ 代表理事との定例 MTG(月1回)を実施した ・ 支援者向けニュースレターを配信した |
| ② SNS・ウェブサイト | <ul style="list-style-type: none"> ・ ウェブサイトの更新・管理・問い合わせ対応に加え、Facebook と X アカウントの運用を行った ・ 毎週心臓弁膜症に関するニュースを SNS にて配信した ・ 体験談を 4 本制作しウェブサイトに掲載した |

③ グローバルの取組	Global Heart Hub との心臓弁膜症啓発キャンペーンと心臓弁膜症啓発ウィーク開催のサポートをした	
④ イベント企画・運営	4月22日	支援者向け活動報告会(オンライン)開催
	6月15日	オンライン交流会開催
	8月3日	オンライン勉強会(健康ハートの日記念)開催
	10月25日	オンライン交流会開催
	11月17日	勉強会+交流会(リアル)開催

(イ) 活動支援

患者会・患者支援団体の充実した活動を支援するため、オンラインイベントの開催サポート、アーカイブ動画編集等、患者会本来の活動を活性化するサポートを行った。

受託概要

団体名	実施日	内容
NPO 法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会	1月～12月	慢性疾患セルフマネジメントプログラム受講者へのアンケート実施(～3月)、広報支援、管理業務サポート
認定非営利活動法人希望の会	1月28日	オンラインイベント「～19年ぶりの患者向け胃癌治療ガイドライン発行企画～あなたにとって最適な治療につながるために②」開催サポート
	2月17日	オンラインイベント「～19年ぶりの患者向け胃癌治療ガイドライン発行企画～あなたにとって最適な治療につながるために③」開催サポート
	10月21日	オンラインイベント「胃がんセミナー2024～患者さんのための胃がん治療ガイドラインのすべて①」開催サポート
	11月26日	オンラインイベント「胃がんセミナー2024～患者さんのための胃がん治療ガイドラインのすべて②」開催サポート
特定非営利活動法人 ICT 救助隊	4月	「第9回自分をプレゼン!」DVD用映像編集
	8月	「第10回自分をプレゼン!」DVD用映像編集
特定非営利活動法人膠原病・リウマチ・血管炎サポートネットワーク《膠サポ》	5月10日	オンラインイベント「エリテマ未来宣言 2024『医療費節約!筋肉体操でよい状態を保とう』開催サポート

ii. 講演セミナー事業(講演/セミナー企画運営事業)

新薬や製品開発からマーケティングまで、製品のライフサイクルの様々なプロセスに病気をもつ人の“こえ”を届けるため、ライフサイエンス企業を中心に、講演や研修の企画運営を通して病気をもつ人の生活実態、困りごとや本音、アンメット・メディカルニーズを伝えた。

受託概要

企業名	実施日	内容
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	1月22日	講演(リアル開催)
	9月20日	社員研修(リアル開催)

	10月16日	社員研修(リアル開催)
大正製薬株式会社	2月5日	対話会(リアル開催)
日本製薬工業協会 患者団体連携推進委員会	3月5日	第41回製薬協患者団体セミナー
小野薬品工業株式会社	3月22日	講演
	7月8日	講演会
	12月2日	座談会(リアル開催)
	12月4日	座談会(リアル開催)
第一三共株式会社	3月27日	座談会
	5月10日	座談会
	7月29日	講演(ハイブリッド開催)
	8月7日	座談会
	9月25日	ワークショップ(リアル開催)
	11月7日	講演(リアル開催)
	12月18日	座談会(リアル開催)
12月23日	座談会(リアル開催)	
中外製薬株式会社	4月9日	新入社員研修
EAファーマ株式会社	5月17日	講演会(ハイブリッド開催)
	9月12日	講演
	11月27日	社員研修(リアル開催)
Ubie(ユビー)株式会社	5月30日	第3回Ubie Pharma Summit
アステラス製薬株式会社	6月26日	社員研修(リアル開催)
イーピーエス株式会社、メディデータ・ソリューションズ株式会社	10月25日	ワークショップ(リアル開催)
日本メドトロニック株式会社	12月1日	市民公開講座共催(リアル開催)
ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社	12月11日	社員研修(リアル開催)

iii. アドバイザリー事業(“こえ”の活用事業)

(ア) “こえ”のプロデュースプロジェクト

病気をもつ人の“こえ”を価値に変換し、病気をもつ人視点の治療・薬・サービスに繋げるため、各種アドバイザリーや情報提供、執筆などを行った。また、学会・研究会等への登壇や医療について学ぶ学生に対する講義も積極的に行った。

受託概要

企業/団体名	実施日	内容
モニタリング 2.0	1月13日	エリアミーティング in 北里&Zoom 登壇
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	1月26日	啓発動画撮影
	7月31日	レイサマリーレビュー・ディスカッション
	10月31日	インタビューコーディネート
	12月9日	レイサマリーレビュー・ディスカッション
日本製薬工業協会	1月31日	ICF 共通テンプレートレビュー

一般社団法人 CancerX	1月31日	World Cancer Week 2024 CancerX ゲノム 登壇
ファイザー株式会社	1月	資料の校閲
帝京平成大学 薬学部	2月6日	アドバンスセミナーⅢ ① 臨時特別講師
	5月8日	アドバンスセミナーⅢ ② 臨時特別講師
	7月31日	アドバンスセミナーⅢ ③ 臨時特別講師
小野薬品工業株式会社	2月9日	インタビュー動画コーディネート
	3月28日	インタビューコーディネート
	6月16日	アプリ検証・インタビューコーディネート
	12月11日	研修動画撮影
大和ライフネクスト株式会社	3月15日	アンケート実施
	8月9日	アドバイザリー
ノバルティスファーマ株式会社	3月15日	オンラインラウンドテーブル参画
	5月29日	Rare Kidney Disease Mental Health Advisory Board 参画
	10月28日	インタビューコーディネート
日本臨床倫理学会	3月17日	第11回年次大会 シンポジウム6「臨床倫理コンサルテーションのこれまでと、これから」登壇
国立研究開発法人 国立がん研究センターがん対策研究所 SaQRA (日本がんサバイバーシップ研究支援グループ)	3月23日	第5回サバイバーシップセミナー 登壇
	7月10日	2024年度第2回行動科学・サバイバーシップセミナー 登壇
第一三共株式会社	3月	PFDD(ICF レビュー)2件
	9月	PFDD(ICF レビュー)
	10月	PFDD(ICF および PLS レビュー)
	11月	PFDD(ICF レビュー)
	12月	PFDD(ICF レビュー)
大正製薬株式会社	5月12日	ICF レビュー
日本保健医療社会学会	5月26日	第50回日本保健医療社会学会大会 Round Table Discussion:「『生きる権利』を考え続ける—パターンリズムと自己決定権を超えて」 登壇
アルジェニクスジャパン株式会社	6月29日	インタビュー動画撮影
TERA Energy 株式会社	6月30日	テラエナジー文化まつり 2024-ほっと資産団体と出会う一日- 登壇
ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社	7月15日	インタビューコーディネート
	11月19日	イベントコーディネート
一般財団法人日本製薬医学会	7月19日	メディカルアフェアーズ部会セミナー 登壇
一般社団法人ディー・アイ・エー・ジャパン	7月24日	第12回DIAクリニカルオペレーション・モニタリング ワークショップ 登壇
特定非営利活動法人一新塾	7月24日	一新塾53・54期 OBOGコンサルティングコース合同コンサルテーションアドバイザリー
立命館大学	8月5日	論文へのコメント

千葉県習志野健康福祉センター	9月2日	小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 講演動画収録
一般社団法人 日本血液製剤機構	9月4日	職員向け研修動画撮影
アレクシオンファーマ合同会社	9月13日	インタビューコーディネート
	11月25日	ICFレビュー・インタビュー
Just Worldwide 株式会社	9月18日	インタビューコーディネート
	11月29日	インタビュー
エドワーズライフサイエンス合同会社	10月16日	Patient Experience Japan 2023 開催サポート(アドバイザリー)
上智大学・東京慈恵会医科大学	10月20日	2024年上智大学・東京慈恵会医科大学 ジョイントシンポジウム 市民公開講座「胎児への治療介入の展望と倫理」登壇
日本イーライリリー株式会社	10月	インタビューコーディネート・アドバイザリー
一般社団法人日本サイコオンコロジー学会	11月3日	コミュニケーション GL 意見交換会 出席
日本生命倫理学会	11月17日	第36回 日本生命倫理学会年次大会「緩和医療と『安楽死』のはざままで」登壇
資生堂クリエイティブ株式会社	12月20日	INCLUSIVE BEAUTY アンケートおよびインタビュー コーディネート
日本製薬工業協会	1月～12月	患者団体アドバイザリーボードメンバー
国立大学法人東京科学大学	1月～12月	治験等審査委員会外部委員

iv. その他事業(就労支援/継続支援事業)

(ア) 病気と仕事の両立支援ラボ

- 4月にnoteにてコラム形式で病気と仕事の両立支援に関する様々な動向やデータを発信するため「病気と仕事の両立支援実験室」を開設した。
詳細→<https://ppecc.jp/news/post/000442/>
- 「病気と仕事の両立支援ラボ(病気があっても働きやすい会社について、企業と共に考えるコンソーシアム)」設立に向け、業界を問わず様々な企業との情報交換を行った。

(イ) 病気をもつ人の働き方の開発・普及

- Rare Disease Day を記念して、2月に両立支援とピアサポートに関するアンケートを実施し、3月にアンケート結果を報告するウェビナーを開催した。
詳細→<https://ppecc.jp/activity/post/000425/>
- 2月29日、RDD Japan 15周年イベント ～Let's celebrate the 15th RDD Japan MATSURI together! にてテーブル展示を行った
活動報告→<https://ppecc.jp/activity/post/000426/>
- 8月21日、ワークスタイリング主催イベント「治療しながら働く人から学ぶ！病気を抱えた社員をサポートするマネジメント@東京ミッドタウン八重洲」にて登壇した
イベント詳細→<https://mf.workstyling.jp/event/thm-bssm/>
- 9月に「第12期 田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム」採択を受けて以下のイベントを開催した。

開催概要

イベント名	「やりたいことをあきらめない！～難病をもつ人の就労課題を『自助・共助・公助』で乗り越える～」
開催日時	9月22日(日)14:00～16:00
開催方法	ハイブリッド開催(対面:ホテルメルパルク熊本+オンライン)
プログラム	<p><第一部></p> <p>講演①自助:自分の強みを活かすキャリア構築 田代晋也氏(NPO 法人熊本県難病支援ネットワーク専務理事、キャリアコンサルタント、熊本県難病相談・支援センター就労支援員)</p> <p>講演②共助:企業文化の醸成と難病をもつ人の働き方 長田健吾氏(合同会社 with feeling)</p> <p>講演③公助:難病でも申請できる障害年金～無理なく働くための基盤作り～ 松山純子氏(YORISOU 社会保険労務士法人)</p> <p><第二部>参加者交流会</p> <p>開催報告→https://ppecc.jp/activity/post/000495/</p>
参加者数	51名(うち、オンライン35名)



3. 理事会・総会の開催状況

2024年度 第1回 定時理事会

日時 2024年3月29日(金) 18時00分~18時25分
 場所 当法人事務所
 出席 理事3名、監事1名、事務局(書記)1名
 議案 決議事項 ・第1号議案 第5期計算書類及び事業報告並びにこれらの附属明細書承認の件
 ・第2号議案 定時社員総会の招集の件
 議題:第5期計算書類及び事業報告書報告の件
 報告事項 ・業務執行状況報告その他

2024年度 定時総会

日時 2024年3月29日(金) 18時30分~18時40分
 場所 当法人事務所
 出席 理事3名、監事1名、社員2名
 議案 報告事項 第5期計算書類及び事業報告書報告の件

2024年度 第2回 定時理事会

日時 2024年6月21日(金) 18時00分~18時30分
 場所 当法人事務所
 出席 理事3名、監事1名、事務局(書記)1名
 議案 報告事項 ・業務執行状況報告その他

2024年度 第3回 定時理事会

日時 2024年9月29日(日) 10時30分~11時00分
 場所 当法人事務所
 出席 理事3名、監事1名、事務局(書記)1名
 議案 報告事項 ・業務執行状況報告その他

2024年度 第4回 定時理事会

日時 2024年12月22日(日) 10時00分~10時50分
 場所 当法人事務所
 出席 理事3名、監事1名、事務局(書記)1名
 議案 決議事項 ・2025年度事業計画・予算承認の件
 報告事項 ・業務執行状況報告その他

4. 役員

氏名	役職	就任年月日	重任年月日
宿野部 武志	代表理事	2019年1月4日	2023年3月26日
武田 飛呂城	理事	2019年1月4日	2023年3月26日
米倉 佑貴	理事	2019年1月4日	2023年3月26日
佐川 達之	監事	2019年1月4日	2023年3月26日





事業報告の附属明細書

2024 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

一般社団法人ピーパック
代表理事 宿野部武志

